

新しい生活様式における適切な検診実施と受診に向けた研究
分担研究報告書
オンライン健診の位置づけ

研究分担者：立道昌幸 東海大学医学部基盤診療学系衛生学公衆衛生学 教授
研究協力者：深井航太 東海大学医学部基盤診療学系衛生学公衆衛生学 講師
研究協力者：古屋佑子 東海大学医学部基盤診療学系衛生学公衆衛生学 助教
研究協力者：佐々木敏夫 (株)バイオコミュニケーションズ

研究要旨：本研究では、オンライン健診の位置づけとその必要要件について、質的に検討した。結論として、オンライン健診は、施設健診にとってかわるものではなく、施設健診に対して様々な理由から抵抗があり、受診機会を逸している人に対して、少しでも機会を増やすことを目的とすべきであるとして、班会議によるコンセンサスを得た。この中で、特定健診の項目を実施するには、体重計、血圧計が不可欠であること、血液検査については指先採血での郵送検査の可能性を議論した。又、医師による診察は限界がある。以上の観点から、特定健診そのものの代替とはなり得ないが、一方で、保健師等による医療職がオンラインでの健康調査を実施することは、生活習慣のひずみを是正する、初回面談が確実に出来る機会となる可能性があり、健康保持増進に寄与できるレベルはどこなのか、必要な検査のミニマムレベルでの精度の限界値を明らかにすることが、オンライン健診の実施可能性の議論について先行することが明らかになった。

A. 研究目的

新型コロナウイルスのパンデミック(COVID-19)により生活環境、労働環境は一変した。自宅等でのテレワークによる運動不足や飲酒量の増加が懸念されているが、一方でがん検診、職域健診、特定健診など、感染拡大時は受診控えの問題が生じている。

運動不足等の生活習慣病罹患のリスクが上昇していることから、施設健診のみならず、自宅、あるいは、薬局等でのオンライン健診の実施可能性を考える必要がある。

一方で、オンライン健診という言葉が生まれたが、その実態像については異なる見解があり、未だ一致した見解となっていない。本年度は、オンライン健診の位置づけ、また課題抽出を行った。

B. 研究方法

健診・検診の中間業者であるバイオコミ

ュケーションにヒアリングを行うとともに、研究協力者と、オンライン健診に関する位置づけと、課題整理を質的に検討した。

C. 結果

1) オンライン健診の位置づけ

実施フローのイメージを図1に示す。

特定健診をその対象として考えた。まず、案内や健康調査票送付等により、施設での特定健診を推奨する。

さらに、これまで未受診あるいは、メタボリック症候群の基準に該当する方にはさらなる勧奨を行う。

受診する意思はあるものの、忙しい等の理由で施設健診での受診ができない場合に、オンライン(Web)健診の選択があることをアナウンスする。

2) オンライン健診のフロー

①あらかじめ、実施案内、健康調査に関する資料を送付。記入に関しては、Web 上での記入とする。

(Web 対応できない方は、家族等の協力を得る)

②オンライン健診実施者は、保健師等の医療職が望ましく、記入内容の確認を行う。

③保健師が担当した場合は、初回面接が可能となる。

具体的な特定健診の項目についての実施可能性については表を以下に示す(表1)。

既往歴調査○

身長：自己申告○

体重：体重計△

血圧：血圧計△

血液検査：郵送検査

尿検査：テストテープの郵送

医師診察：△

血液検査における郵送型検査については、いくつかの精度に関するデータを現在郵送の血液検査を実施している株式会社リージャーから資料が提示された。

指先採血によるデータと肘静脈からの採血結果との相関が高いことについては、既に報告があった。

しかしながら、今回提供された資料には郵送という過程を経ることから、指先での採血後の郵送を経た結果と、肘静脈との結果についての相関に関するデータが不足しており、それに関する追加が必要と考えられた。

4. 実施フロー(イメージ)

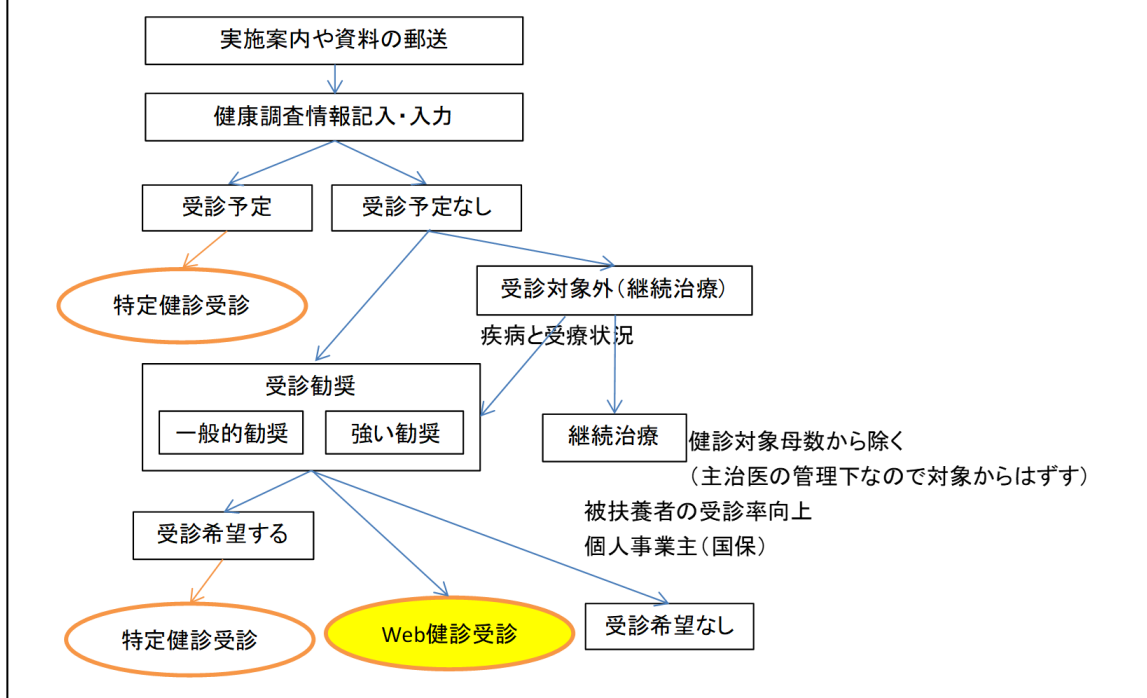


図1 実施フロー (イメージ)

D. 考察と結論

オンライン健診は、あくまでも施設健診受診が様々な理由で困難ではあるが、自宅あるいは、近隣の施設で実施出来る場合の補完的な健診スタイルであるという認識で一致した。

特定健診の全ての項目を実施することは困難であり、その意味では代替にはなり得ない。しかしながら、メタボリック症候群の予防に対してどこまで特定健診の項目に準拠する必要があるのか、特定健診の項目の研究班との連携をしながら議論する必要があると考えられた。その結果を踏まえ、郵送型血液検査にどの程度まで精度を求めるのかについての要求度が決定されると思われる。

E. 政策提言および実務活動

本年度はない

F. 研究発表（本研究に関わるもの）

1. 学会発表

なし

2. その他

なし

G. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

表 1 特定健診項目の実施可能性

項目	オンライン健診	必要な測定計	代替	セット	特定保健指導に必須	目的
既往歴の調査	○				○	既往歴・生活習慣・行動ステージ
身長、体重及び腹囲の検査	△	身長・体重計・巻き尺	自己申告	巻き尺	○	内臓脂肪蓄積評価
BMI の測定	△	身長・体重計	自己申告			
血圧の測定	×-△	血圧計		血圧計	○	肥満程度 血圧
肝機能検査	△	郵送等		郵送検査キット		?
血中脂質検査	△	郵送等		郵送検査キット	○	脂質異常
血糖検査	△	郵送等		郵送検査キット	○	糖尿病
尿検査	△	テストテープ		テストテープ		CKD
他覚症状	×		オンライン診察			?